

キャリア教育に関する取組み【市長部局】

	事業名	事業概要	担当課	
1	まちを知る	長崎魅力発信事業 [再掲:3. 人を知る]	(ながさきジーン！の制作)情熱を持った、すてきな長崎の人を通して長崎の魅力を紹介し、長崎のまちの元気を伝える。コンセプト:「人、まちを元気にする、長崎応援マガジン」(Webマガジン「ナガジン！」制作)市内外の人に、長崎市の歴史や文化・人・楽しみ方等、隠れた魅力を発信・PRする。	広報広聴課
		平和学習発表会開催事業 [再掲:6. 力を合わせる体験をする]	市内の中学生が一堂に会し、日ごろ取り組んでいる平和学習の成果を発表するとともに、本市が取り組んでいる平和活動の状況も発表することで、青少年の自主的な平和学習の取り組みを推進する。	被爆継承課
		青少年平和交流	市内の中学生を対象とした沖縄派遣研修「少年平和と友情の翼」を実施し、沖縄の戦跡や資料館の見学、那覇市の中学生との交流や双方の戦争被害について伝え合うなど、「学び、伝える」研修を行う。	被爆継承課
		世界平和祈念ポスター・標語展	平和を願い、平和の尊さを伝える内容のポスター及び標語を募集し、入賞作品の展示を行う。	被爆継承課
		平和の灯	平和祈念式典の前夜に、主に市内の小中学生が平和への願いを込めて作製した手作りキャンドルに灯をともし、平和を願うコンサートを実施する。	被爆継承課
		語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)推進事業	次世代の語り部への継承を推進。講話を行うための原稿作成に関する支援や、話し方研修などを行う。 また、市内外へ講話者の派遣も実施。市内学校へも派遣している。平成30年度からは、市外派遣を国が実施する。	被爆継承課
		放課後子ども教室推進事業 [再掲:3. 人を知る]	小学校区において、放課後又は週末等に小学校等を使用し、地域と学校が連携・協力して、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を設ける。	こどもみらい課
		長崎街道シュガーロード推進事業	江戸時代に砂糖が運ばれた長崎街道シュガーロードの歴史や文化の魅力を広く市民へ発信する。	商工振興課
		長崎水産練り製品ブランド化推進事業	長崎は水産練り製品の消費額全国1位を誇っている。水産練り製品製造業者、商工会議所、金融機関等で構成する「長崎かんぼこ王国」と連携し、長崎かんぼこの魅力を発信する。	商工振興課
長崎さるく運営費の補助	長崎のまちあるき観光「さるく」を通して、長崎のまちの魅力を伝える。	観光推進課		

		事業名	事業概要	担当課
1	まちを知る	子どもゆめ体験事業 [再掲:4. 生活する力をつける]	次世代を担う長崎の子どもたちを姉妹都市・市民友好都市等に派遣し、現地の人々との交流を通じて「個性輝く世界都市」としての人的ネットワークを拡大するとともに、文化・習慣などを肌で感じるにより、国際性を有する人材の育成を図る。	国際課
		ながさき歴史の学校	長崎の歴史や文化について、もっと知りたい、教えたい、いろいろな人と交流したいという市民や市民団体等がつながる仕組み(ネットワーク)をつくり、誰もが気軽に学べ、お互いに教え合える学びの場を市民との協働によってつくり上げる。	文化財課
		長崎学調査研究	調査研究事業・普及啓発事業・後継者育成事業の3本を柱に、大学や市内の歴史研究団体とのネットワーク構築や公開学習会の実施、小学生を対象にした長崎学児童研究コンクールを実施する。また、長崎学の研究成果を紀要「長崎学」にまとめ刊行することで内外に広く発信する。	長崎学研究所
		鯨のまち長崎	長崎は歴史的に鯨との関わりが深く、祭りや工芸品など市民の生活にも根付いていることから、市民への鯨食の普及啓発、食文化の継承を図るための各種事業を展開する。 ・夏休みくじら食文化料理教室 ・くじら料理教室の実施	水産農林政策課
2	しくみを知る	消費生活出前講座の実施 [再掲:4. 生活する力をつける]	消費者契約や消費者トラブルの事例と対策、また、自分たちの消費行動が社会に与える影響などについての出前講座を実施し、自立した消費者の育成を図る。	消費者センター
		親子で省エネ実験・施設見学会	小学生とその保護者を対象に、電気に関する実験や市内の環境関連施設の見学を通して、環境保全に対する意識の醸成を目標とした学習会を実施する。	環境政策課
		臨時の講習会への講師派遣事業(出前講座)	小学校の授業、各種研修会、婦人会などからの環境に関する講師派遣依頼に対し、担当市職員を派遣し、自然環境及び地球温暖化等に関する講座を行う。	環境政策課
		小中学校リサイクル活動推進 [再掲:6. 力を合わせる体験をする]	小中学生に対する環境教育を推進するため、牛乳パックや、家庭から排出されるペットボトルの樹脂製のふた、金属製のふたを回収しリサイクルする活動を支援する。また、回収に取り組んでいる学校に対し、提供品(花苗、サッカーボール等)や回収用具(ポリ袋等)を配布する。	廃棄物対策課
		資源ごみ処理	市内小学校において、3年生または4年生の授業の中でごみ処理に関する学習を行っているため、毎年、環境教育の補助教材を作成・配布する。	廃棄物対策課

		事業名	事業概要	担当課
2	しくみを知る	水産多面的機能発揮対策支援事業(漁場環境の保全活動)	小中学生を対象として地元の海の環境問題(現状)とその改善のために、漁業者をはじめとする地域の方が行っている活動について、学習会を開催し、海への興味・関心を高める。	水産振興課
		学校における模擬選挙	将来有権者となる中学生を対象に、社会の一員であるという自覚を持ってもらい、政治・選挙の意義や仕組みを学習してもらうことを目的に模擬選挙を実施する。	選挙管理委員会
3	人を知る	長崎魅力発信事業 [再掲:1. まちを知る]	(ながさきジーン!の制作)情熱を持った、すてきな長崎の人を通して長崎の魅力を紹介し、長崎のまちの元気を伝える。コンセプト:「人、まちを元気にする、長崎応援マガジン」(Webマガジン「ナガジン!」制作)市内外の人に、長崎市の歴史や文化・人・楽しみ方等、隠れた魅力を発信・PRする。	広報広聴課
		放課後子ども教室推進事業 [再掲:1. まちを知る]	小学校区において、放課後又は週末等に小学校等を使用し、地域と学校が連携・協力して、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を設ける。	こどもみらい課
4	生活する力をつける (社会的自立)	消費生活出前講座の実施 [再掲:2. しくみを知る]	消費者契約や消費者トラブルの事例と対策、また、自分たちの消費行動が社会に与える影響などについての出前講座を実施し、自立した消費者の育成を図る。	消費者センター
		親子環境教室の開催	小中学生とその保護者を対象に、環境問題への気づきと、日常生活の中でできる地球にやさしい実践行動へのきっかけづくりを目的とした、海辺の生物観察会、川の生物観察会、草木観察会、ネイチャーゲームなどの教室を開催する。	環境政策課
		子どもゆめ体験事業 [再掲:1. まちを知る]	次世代を担う長崎の子どもたちを姉妹都市・市民友好都市等に派遣し、現地の人々との交流を通じて「個性輝く世界都市」としての人的ネットワークを拡大するとともに、文化・習慣などを肌で感じることで、国際性を有する人材の育成を図る。	国際課
		外国文化体験出前講座	将来、国際交流の担い手となることや社会人になったときに日常的に外国人と接することが想定される青少年が、外国の文化を実際に体験することにより、外国に対する関心や理解を深めることを目的に開催する。	国際課
		芸術文化体験教室	子どもを対象に日本の伝統文化である箏の教室や水墨画教室などを開催し、伝統文化に興味を持ってもらう。	文化振興課

	事業名	事業概要	担当課	
4	生活する力をつける (社会的自立)	グリーンツーリズム推進費 (長崎市子ども農山漁村交流体験)	小中学生が農山漁村の文化や豊かな自然に親しみ、グリーンツーリズムの体験を通して地域の人と触れあい豊かな人間性を育むとともに、体験を受け入れる団体のスキルアップや基盤強化を図る。	農林振興課
		親子でワンデー消防士体験	消防業務の体験を通して火災予防の大切さを学んでもらうため、夏休み期間中に親子を対象とした応募型イベントを開催する。	消防局予防課
		スクール救命サポーター育成事業	市内の中学校1年生に対して、命の大切さを学び、応急手当に対する理解を深めるため、AEDの使用法を含む心肺蘇生法の実技指導を行う。	消防局警防課
5	職業の力をつける (職業的自立)	地場企業知名度アップ促進事業	地元企業の業務内容をはじめ、その企業が培ってきた技術や製品、更には独自の取り組みや社風を紹介する番組(長崎キラリ☆カンパニー)を制作し、毎月1回放送を行っているほか、動画投稿サイトへの投稿や各教育機関へDVD配布を行っている。 なお、市立中学校に対しては年度ごとに12社の映像を記録したDVDを配布し、キャリア教育等での活用を促す。	産業雇用政策課
6	力を合わせる 体験をする	長崎市スポーツ少年団クリーン作戦	各団で計画を立て、団員相互の親睦を図るとともに、地元の公共の場を清掃することにより奉仕の精神を養い、地域への社会的な貢献を行う。	スポーツ振興課
		平和学習発表会開催事業 [再掲:1. まちを知る]	市内の小中学生が一堂に会し、日ごろ取り組んでいる平和学習の成果を発表するとともに、本市が取り組んでいる活動の状況も発表することで、青少年の自主的な平和学習の取り組みを推進する。	被爆継承課
		ながさきエコネット参加学校(ながさきサステナスクール)支援事業	市民ネットワーク「ながさきエコネット」に参加している「ながさきエコスクール」(H30.4.1現在市内全小中学校認定)のうち、さらに地域の特性や歴史を活かし、地域や環境保全団体等と連携した、特色ある取り組みを行っている学校(ながさきサステナスクール)に対し、その活動にかかる経費の支援を行う。	環境政策課
		小中学校リサイクル活動推進 [再掲:2. しくみを知る]	小中学生に対する環境教育を推進するため、牛乳パックや、家庭から排出されるペットボトルの樹脂製のふた、金属製のふたを回収しリサイクルする活動を支援する。また、回収に取り組んでいる学校に対し、提供品(花苗、サッカーボール等)や回収用具(ポリ袋等)を配布する。	廃棄物対策課
		こども演劇体験教室	子どもたち自身で、演技だけでなく、衣裳や小道具作りから稽古までを行い、最後には保護者などを招き発表会を行う演劇体験教室を開催し、一人ひとりが役割分担しながら作品を作り上げる体験の場を創出するとともに舞台芸術への興味関心を高める。	文化振興課

	事業名	事業概要	担当課	
7	まちを愛する 気持ちを 表現する	小学生による「まちづくり」アイデアコンテスト (よかまちづくり基本条例の推進)	これからのまちづくりを担っていく子どもたちに、まちづくりについて考えるきっかけを与え、自分たちもまちづくりの主役であるという意識を持ってもらうことで、長崎市よかまちづくり基本条例の基本理念を広めるために開催する。 また、子どもたちのまちづくりに対する意識の醸成を図るとともに、大人にもまちづくりを考えるきっかけを作り、「まちづくりプレイヤー」を増やしていく。 具体的には、市内の小学生から「まちづくり」に対する提案を募集し、優秀作品については提案者によるプレゼンテーション及び表彰を行う。	都市経営室
		「人」のまち「ながさき」プロモーション事業費	長崎市民の愛する声を集めて、長崎の日常の魅力を発信する『長崎〇〇LOVERS』プロジェクト」の取組みを推進し、市民が日常の中で感じている長崎の魅力を再認識し、長崎に対する誇りや愛着、いわゆる「シビックプライド」を高めるとともに、新しい長崎ファンをつくらせて長崎市への新たな来訪者を増やし、ひいては、滞在期間の延長などによる消費拡大に向けた取組みを進める。	長崎創生推進室
		長崎市の鳥制定	現在、「長崎市のシンボル」として「き章」、「あじさい」、「なんきんはぜ」を制定しており、市民の郷土に対する愛着や親しみを深めることに大きな役割を果たしている。これらに加えて、新たに「長崎市の鳥」を制定することにより、「ふるさと長崎を愛する心の醸成」を更に促進する。	総務課
		V・ファーレン長崎応援事業	ホームタウンを長崎市、諫早市を中心とする全県とし、Jリーグで活動している「V・ファーレン長崎」のホームゲームに長崎市内の小中学生を招待し、県内唯一のプロチームの試合を間近で見ることで、子どもたちが夢を抱き、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくる。	スポーツ振興課
		花のあるまちづくり事業 (公共花壇デザインコンクール の開催)	緑豊かなまちづくりを推進するため、児童等への緑化啓発として行う。 具体的には、市内の小学生から公共花だんのデザインを募集し、選定審査会で選考し、表彰、植栽式等を実施する。	土木総務課
8	その他	ラグビーワールドカップキャンプ誘致の取組み	・スコットランドラグビー協会のコーチ・選手による「こどもラグビー教室」の開催・学校訪問 ・県中学ラグビー選抜チームをスコットランドに派遣(長崎市内から15人を派遣) ・スコットランドラグビー協会から市立小中学校へラグビーボールの寄贈 ・スコットランドラグビー協会の役員・元選手による「こどもラグビー教室」の開催・学校訪問	スポーツ振興課
		文化振興の推進	本市の文化の樹を大きく育てるため、市民美術展、市民音楽祭など各種市民団体との共催事業の開催、市民の芸術文化事業への助成などを通して、子どもたちを含めて市民の芸術文化の観賞や発表の機会の創出や文化団体等の活動の活性化を図る。	文化振興課

キャリア教育に関する取組み【教育委員会】

	事業名	事業概要	担当課	
1	まちを知る	長崎の宝発見・発信学習推進事業	長崎の歴史や世界遺産等を学習する活動を通して、そのよさを実感し、ふるさと長崎に誇りを持ち、長崎が持つ世界的な価値を発信できる児童生徒の育成を目的とする。	学校教育課
		宿泊体験推進事業 [再掲:5. 職業の力をつける] [再掲:6. 力を合わせる体験をする]	小学5年生の全ての児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での集団宿泊活動に加えて、地域の農家、水産業者などとの協働により長崎ならではの農業・水産業に関する体験を行い、ふるさと長崎のよさを実感させることで郷土愛を育む。	学校教育課
		(社会科見学)	日々の社会科授業の内容や教材と関連付けて、地域の施設等を見学することによって、教室での学びに増して、見学した施設等への関心を高めたり、そこで出会った人に憧れを抱いたり、自己の生き方につなげたりして深い学びに高める機会をもつ。	学校教育課
		長崎市産恐竜化石普及活動	小・中学生向け講演会やワークショップの実施により、シビックプライドの醸成を図る。	恐竜博物館準備室
		長崎市科学館展示室リニューアル	(展示内容)「大地・暮らし・未来」の3つをテーマに「長崎らしさ」を取り入れた展示構成から、科学教育を行う。 展示のコンセプトとしては、「大地」のコーナーでは現在の長崎で見られる自然を切り口として、地球科学的な視点から長崎を読み解く内容とする。 「暮らし」のコーナーでは物理学や医学など長崎から全国へとひろがり、日本の発展を支えた西洋科学をテーマに科学原理や科学技術を伝える。 「未来」のコーナーでは、現在の天文学や最新の宇宙技術を紹介し、長崎と天文学のつながりも紹介する。 (事業時期) 平成30年12月22日オープン予定	生涯学習課
	公民館における夏休みこども講座 [再掲:3. 人を知る] [再掲:4. 生活する力をつける] [再掲:5. 職業の力をつける]	公民館において夏休み期間中に、子どもを対象にした講座を行う。 主な講座 自然環境調べ、歴史学習(くんち塾)、地域マップ作り	生涯学習課	
2	しぐみを知る	キャリア教育推進事業 「弁護士による法教育」 [再掲:4. 生活する力をつける]	小・中学校において弁護士による「法教育」を実施することによって、法を正しく理解し社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする心を育てる。	学校教育課
		市立学校間ふれあい交流	極小規模校の児童生徒と中規模・大規模校児童生徒のふれあい交流により、集団規模による個々の役割の違い、児童・生徒活動の運営方法の違い、規模によらない共通点などを捉え、児童生徒の人間関係力、コミュニケーション能力の向上を図る。	学校教育課

キャリア教育に関する取組み【教育委員会】

		事業名	事業概要	担当課
2	しくみを知る	模擬選挙	各学校で実施する生徒会役員選挙などで選挙管理委員会の選挙箱を使い投票を行うことによって、選挙のしくみを知り、今後の主権者教育につなげる機会とする。	学校教育課
3	人を知る	キャリア教育推進事業 「キャリア教育講師の派遣」 [再掲:5. 職業の力をつける]	地元長崎で活躍している医療、福祉、建築、スポーツ等の専門家や職業人を小中学校に派遣し、職業講話などの交流を行うことを通して、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする態度を育成する。	学校教育課
		いわき市、国立市の平和学習交流	福島県いわき市の中学生、東京都国立市の小学生と長崎市の小・中学生が平和学習の成果を交流することによって、相互理解を深めるとともに、平和を追究し、自ら創ろうとする態度を育てる。	学校教育課
		中学生議会	市立中学校生徒会のリーダーが市議会会議場にてテーマに基づき意見交換を行う場を設けることで、自主性、リーダー性、企画力、創造力等の向上と、各学校の生活会活動の活性化を図る。	学校教育課
		平和教育指導 [再掲:4. 生活する力をつける]	市内全小学校が被爆体験講話を実施し、被爆体験者等の生の声を聴き、思いに触れる経験を通じて、平和の大切さや命の尊さに気付く機会をもつ。	学校教育課
		公民館における夏休みこども講座 [再掲:1. まちを知る] [再掲:4. 生活する力をつける] [再掲:5. 職業の力をつける]	公民館において夏休み期間中に、子どもを対象にした講座を行う。 主な講座 郷土芸能伝承講座	生涯学習課
4	生活する力をつける (社会的自立)	キャリア教育推進事業 「弁護士による法教育」 [再掲:2. しくみを知る]	小・中学校において弁護士による「法教育」を実施することによって、法を正しく理解し社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようという心を育てる。	学校教育課
		国際理解教育推進	小学校にALT派遣し英語での基本的なあいさつ等を学ぶハローイングリッシュ活動、小・中学生とALTが長崎の歴史について英語で語り合い郷土愛を育む国際交流イベント、外国からの観光客に中学生が道案内を行い、おもてなしの心を育む英語寺子屋教室などによって国際社会を生き抜く人材の育成を図る。	学校教育課
		平和教育指導 [再掲:3. 人を知る]	平成30年度に発行する『平和教育手引き書』『平和ナガサキ(改訂版)』に沿った平和教育の展開により、他者の意見を尊重しながら自分の言葉で平和を語り、行動できる児童生徒の育成を図る。	学校教育課

キャリア教育に関する取組み【教育委員会】

	事業名	事業概要	担当課
4	生活する力をつける (社会的自立)	いじめや不登校、虐待や暴力行為等、生徒指導上の諸問題のうち、学校(園)だけでは対応が困難な事例に対して、スクールソーシャルワーカーを派遣し、関係機関と調整・連携を図りながら子どもを取り巻く環境の改善を行い、ひきこもり傾向の児童生徒への支援を含め、問題を抱える幼児、児童生徒の支援を行う。	教育研究所
	公民館における夏休みこども講座 [再掲:1. まちを知る] [再掲:3. 人を知る] [再掲:5. 職業の力をつける]	公民館において夏休み期間中に、子どもを対象にした講座を行う。 主な講座 親子料理教室	生涯学習課
	はじめまして絵本事業費	4か月児健診会場において、司書が親子での読書の大切さの意義を説明のうえ、絵本引換券を配布するとともに、引き換え場所である市内57箇所の図書館・公民館図書室等で実施している「読み語り」や各種講座等への参加を促し、図書館・公民館等の利用による地域交流等につなげる。	市立図書館
	図書館を使った調べる学習コンクール事業	図書館にある資料をはじめ、様々な情報を活用した調べる学習を通じて、児童・生徒等が自ら考え、判断し、表現する力をはぐくむとともに、その活動において、公共図書館、学校図書館等を利用し、調べ物の楽しさを体験することにより、図書館の役割を認識し、今後の図書館の利用促進につなげる。	市立図書館
5	職業の力をつける (職業的自立)	地元長崎で活躍している医療、福祉、建築、スポーツ等の専門家や職業人を小中学校に派遣し、職業講話などの交流を行うことを通して、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現しようとする心を育てる。	学校教育課
	宿泊体験推進事業 [再掲:1. まちを知る] [再掲:6. 力を合わせる体験をする]	市内の児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での集団宿泊活動に加えて、地域の農家、水産業者などとの協働により開発した長崎ならではの農業・水産業に関する体験を行い、ふるさと長崎のよさを実感させることで郷土愛を育む。	学校教育課
	公民館における夏休みこども講座 [再掲:1. まちを知る] [再掲:3. 人を知る] [再掲:4. 生活する力をつける]	公民館において夏休み期間中に、子どもを対象にした講座を行う。 主な講座 こどもサイエンス教室	生涯学習課
	子どもの本と学びの研究会	学校図書館に関わりのある方(図書ボランティア・司書教諭・学校司書等)や、子どもの本について学びたい方などが情報交換しながら、学び合う会。	市立図書館

キャリア教育に関する取組み【教育委員会】

	事業名	事業概要	担当課	
6	力を合わせる 体験をする	宿泊体験推進事業 [再掲:1. まちを知る] [再掲:5. 職業の力をつける]	小学年5年生全ての児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での2泊3日の宿泊体験を行うことで、仲間と協働することの喜びが実感できる機会をもつ。	学校教育課
		日吉自然の家運営費	幅広く市民の利用に供することにより、自然環境の中での野外活動及び集団活動を通じた健全な心身の育成を図ることを目的とする。	生涯学習課
		図書館ボランティアの活用	ボランティア活動を通じて、地域社会へ貢献しようとする市民とともに、よりよい図書環境をつくるため、市民と図書館との協働体制を構築する。	市立図書館
		こども司書講座	本が好きで読書への関心が高い子どもたちが、司書の役割を学び、学校や地域の図書館で読書の楽しさを伝える活動を行う「こども司書」を育成する講座。	市立図書館
		読書週間おはなし会	図書館でボランティア活動されている団体と協力して実施するおはなし会。	市立図書館
7	まちを愛する 気持ちを 表現する			